



2020年12月17日

各 位

会 社 名 ペプチドリーム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 リード・パトリック
(コード番号：4587 東証第一部)
問い合わせ先 IR 広報部長 岩田 俊幸
電 話 番 号 (0 4 4) 2 2 3 - 6 6 1 2

大鵬薬品との PDPS 自動化プラットフォームの運用に関する 非独占的ライセンス許諾契約締結のお知らせ

当社は、以下のとおり、大鵬薬品工業株式会社（代表取締役社長：小林将之、本社：東京都千代田区、以下「大鵬薬品」）との間で、ペプチドリーム独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS（Peptide Discovery Platform System）の自動化プラットフォームを用いた運用に関して、大鵬薬品に対する非独占的ライセンス許諾契約（以下「技術ライセンス契約」）を締結することについて合意しましたので、お知らせいたします。

1. 技術ライセンス契約の内容等

自動化プラットフォームに関する技術ライセンス契約は、当社独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPSを自動化プラットフォームに基き運用することに関し、大鵬薬品に対して非独占的にライセンス許諾することにより、大鵬薬品社内において特殊ペプチドによる創薬研究開発を実施することができるようにすることを目的としております。

本技術ライセンス契約の締結に伴い、当社は技術ライセンス料（契約一時金）を受け取ることになるほか、PDPSを用いることで創製された医薬品候補化合物について設定されたマイルストーンフィー及び上市後の売上高に応じたロイヤルティを受け取る可能性があります。また、PDPS自動化プラットフォームの運用に用いるPDPS試薬の供給については、別途両者間で販売契約が締結されます。

なお、これら技術ライセンス料等は当社の売上高として計上されますが、その金額については、大鵬薬品との契約に基づき非開示とさせていただきます。

また、これまでの技術ライセンス契約と同様に、ペプチド-薬物複合体：PDC（Peptide Drug Conjugate）は本技術ライセンス契約に含まれておりません。

2. 契約相手先の概要

(1) 名 称	大鵬薬品工業株式会社 (TAIHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.)
(2) 所 在 地	東京都千代田区神田錦町1-27
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小林 将之

(4) 事業内容	医薬品、医薬部外品、医療機器、食料品、日用品雑貨などの製造、販売及び輸出入		
(5) 設立年月	1963年（昭和38年）6月1日		
(6) 大株主及び持株比率 （2020年9月30日現在）	大塚ホールディングス株式会社 100.00%		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(8) 当該会社の最近3年間の経営成績（単位：百万円）			
決算期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
売上高	130,446	124,967	138,982
純利益	10,376	9,570	12,254

※同社は非上場会社のため、過去3年間の経営成績に関する情報の記載は上記のみとなります。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2020年12月16日
(2) 契約締結日	2020年12月16日
(3) 事業開始日	2020年12月16日（予定）

5. 今後の見通し

本件につきましては、2020年2月13日に発表いたしました2020年12月期の業績予想への影響は軽微です。業績予想に変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上